

学区住民の誰もが
共に安心して
暮らせる
生活環境作り



令和3年12月

第65号

編集発行
口田学区町内連合会
口田学区各種団体

口田学区町内連合会

口田の誇り 国史跡・中小田古墳群 動き始めた保存整備計画



木戸敏明さん

史跡・中小田古墳群（口田南3丁目）の保存計画がやっと動き始めました。広島市が昨年策定した「中小田古墳群保存活用計画」の推進に本格的に乗り出したからです。今回の計画に民間の立ち場で参加し、助言提供の協力者の一人でもある木戸敏明さん（口田南3丁目）に、遺跡群の魅力や保存計画を熱く語ってもらいました。

遺跡保存の計画はどのように動くのですか。昨年度策定された「史跡・中小田古墳群保存活用計画」は、広島市と地域が連携して古墳群を適切に保存、整備、活用方法を探ります。基本は「多彩な副葬品や立地が物語る太田川下流域を代表する古墳群の価値や特色をみんなの力で守り、伝え、活かす」ことを目標に進めていきます。

松笠山山麓に位置し、昭和36年に中学生が一



1号古墳から発見された三角縁神獸鏡

号古墳から三角縁神獸鏡を発見。その後の本格調査で優れた遺物が出土し、平成8年11月国史跡の指定を受けました。広島市では広島城、原爆ドーム、頼山陽史跡史郎館に次いで同古墳群が4カ所目の指定です。

古墳群の特色を詳しく教えて下さい。

3世紀後半から5世紀中ごろの期間に12基の古墳が造られた太田川下流域を代表する古墳です。弥生時代の住居、貝塚から中世の山城跡も見つかっています。弥生時代から中世にかけての歴史的姿をたどることが出来ます。同時に経済基盤と一体化した海に面した立地性、畿内や北九州との関係や交流の様子、古墳時代前半の国家形成の状況を解明するうえで重要な史跡です。

三角縁神獸鏡発見の意義はなんですか

卑弥呼が全国を統一していく過程で、地方の有力首長に贈ったものだとされています。現在発見された6枚のうち1枚が小田古墳群から発見されたことは、当時この地域に大きな力を



12/5 里山発見講座で、参加者の皆さんに1号古墳の説明をする木戸さん。多くの副葬品が出土しました。

持っていたことを物語っています。

保存活用の取り組みは進んでいますか。

自然に任せてある古墳群の保存に向けた整備、管理は古墳群紹介の説明版の増設、誘導標識の設置、遊歩道整備が必要です。また、来訪者の駐車場やトイレ設置も大切です。市の考えは10年程度の時間をかけて整備を進めるようです。

地域の支援、協力も欠かせませんね。

小中学校や地域で、古墳群を守り、活かす活動、行動を支えることが大切です。地元、口田住民が古墳群に関心を持ち、教養講座など通してガイドなどができるようになればとても素晴らしいことと考えています。

活動紹介

ハッピーロードは花盛り

皆さまに花苗の提供をお願いしたところ、チューリップ、スイセンの球根、マツバギク、千日紅、コスモス、百日草、マリーゴールド、ケイトウなど多くの種類の苗や球根を頂きました。皆様の暑い中での水やり、草刈りなどにより苗は大きく育ち時期が来るときれいな花が咲きました。今からは寒くなりますが今後ともよろしくお願いいたします。

冬は葉牡丹、パンジーを植えます。お楽しみに！

毎月第一月曜日午前9時ウオーキングデーで（梶谷・中平）

訂正します

前回ユートピア65号で誤りがありました。弘住会長 土井博章会長と記載しましたが、土居博章会長の誤りでした。お詫び申し上げます。

青少年健全育成連絡協議会

今回、意見発表は作文で

11月21日予定の高陽地区青少年意見発表大会はコロナウイルス感染症対策の観点からやむなく中止。2年続けての見送りには不満の声も多く各地区会長で協議を重ねた結果、本年度は各校から選ばれた子どもたちの意見発表を作文形式で提出して頂き記念文集を作成することになりました。早速高陽地域内の各小中学校にご案内を出し12月中には文集の編集を行い、関係者宛に配布させていただく予定です。管内の小、中学校から2名程度選ばれた児童生徒に期待をしているところです。口田小からは6年生の吉田優香さんが「自分の意見は、はっきりと」、同木村優汰くんが「ごみを減らすためにできること」と題した作文を提出してくれました。また口田中学校からも2年生の岩岡千穂さんが「私たちの創る学校」、同村上碧泉さんが「ストラスリボンの取

(伊藤)

り組みを通して」と題した作文を寄せてくれました。それぞれ学校や地域行事で、活動体験や登下校時に感じたことを素直な心情で訴えるなど、普段の学校生活が充実したものであることがよく理解できる素晴らしい内容でした。それぞれの担任の先生からは「普段から積極的な明るい性格の子どもたちです」と誇らしげに語っておられました。

安佐北元氣フェスタも中止

例年12月に実施している安佐北元氣フェスタはコロナ禍における対応策として本年度の実施は見送られました。子どもたちを中心にしたステージ発表など出場予定だった各団体等には楽しみにが無くなりとても残念です。来年こそはコロナに打ち勝ち色んな行事が計画通りに実施できることを願っています。

体育協会

また笑顔で会えることを楽しみに

パンデミックによる感染予防対策等、自粛の日々が続く今日この頃、口田地区の皆さん方元氣にお過ごしのこととおもいます。体育協会行事は、前号で案内しましたが改めて11月以降の行事を案内します。中止する大会は下記の通りです。

月日	予備日	行事名	場所	備考
11/21	未定	第33回ミニサッカー大会	口田小校庭	町内会単位
12/5		第39回バドミントン大会	口田小体育館	町内会単位
12/12	未定	第41回ゲートボール大会	口田小校庭	町内会単位
2/6		第44回卓球大会	口田小体育館	町内会単位

参考資料 (開催予定されている大会)

◎口田学区体育協会関係分

①第20回親善ゴルフ大会 (令和3年12月~令和4年3月予定)

②口田地区親善スポーツ大会 (令和4年1月~3月予定)

③三篠川ウォーキング (令和4年1月~3月予定)

三篠川ウォーキングとは

…動作解析機を用いた歩行動作の測定

…3Dカメラを使って自分自身の歩き方の測定

…歩行年齢の測定

①、②、③大会については改めて案内いたします。

◎安佐北体育団体連合会関係分

第10回安佐北区親善ペタンク大会 (11月21日)

その他の競技大会については開催未定です。

◎全国都道府県対抗男子駅伝 (令和4年1月23日)

新型コロナウイルスが全国的に完全収束して、また地域の皆さんと笑顔で競技できることを体協役員一同お待ちしております。(村井)

防犯組合

年末防犯、再点検を!

今年も12月になり、気忙しい季節となりました。

気が緩みがちになる年末年始、犯罪者は、そこを狙って犯行に及んできます。忙しいからこそ、普段より強い警戒心が必要です。

年末に向けて色々忙しい時期に増える犯罪に「ひったくり」があります。

銀行のATMでお金を引き出した後など、油断しないことが大切です。ひったくり被害者の傾向として、50代以上が5割を占めます。

また、意外なことに20代の方も2割を占めています。

ひったくり対策として以下のこと

- ・心をげましよう。
 - ・人通りの少ない暗い道は避ける
 - ・荷物を道路側の手に持たない
 - ・後方からのバイクや車の接近に気をつける
 - ・(歩きスマホや音楽を聴きながらの歩行は危険です。控えましょう)
 - ・年末年始は空き巣被害が多発
 - ・外出時の「鍵かけ」を忘れない
 - ・外出時の隣人への声かけ
 - ・住宅周囲の整理整頓
 - ・ワンドア・ツーロック
 - ・防犯カメラの設置
- 以上のことなどに気をつけて、楽しい年末年始を過ごしましょう。

(宮部)

公衆衛生推進協議会

環境美化幟旗の作製・設置

毎年6月の1か月間、環境美化標語の募集を「区報あさきた」で行い、安佐北区内の小中学校4年生以上と中学生、高校生と一般を対象に実施してまいりました。最優秀賞に選ばれた作品を幟旗に作製し、区内各所に設置してまいりました。しかし、昨年から新型コロナウイルス感染症拡大の中、標語の募集は中止。しかたなく安佐北区公衛協で独自に作製しました。

昨年度は、「散乱ゴミ追放」で令和3年度は「不法投棄防止」で幟旗を作製し、区内各所に設置しました。

口田学区での設置場所は、みなさんの目にとまり易い口田小学校前のふれあいセンターに2本、不法投棄が目立つ上矢口町内会と東区の境界にある池付近に1本設置しています。

みなさんの町内会で不法投棄が多

お知らせ

1. 今年度のごみ処理施設見学は中止します。
 2. 第二回献血 2月20日(日) 口田郵便局前(別途チラシ配布) 血液が不足していますのでみなさんのご協力をお願いします。
 3. 回覧板が100冊余りあまっていますので希望の町内会へご連絡ください。
- (受付は先着順とさせていただきます)
- 連絡先 栗本
0800-30054-2004
843-1855

(栗本)

子ども会育成協議会

ふれあいを求めて

コロナ禍にて4月から様々なイベントが残念ながら中止となりました。そんな中、安佐北区夏季球技大会が7月25日に行われ2対0で口田の勝利でした。広島市子ども会連合会の球技大会は、11月28日に三入中学校で行われ、安佐北区連合チームは見事優勝しました。

また、来年2月には献血がありますので、ご協力をお願い致します。今年度も後半に差し掛かっており、マスク越しでは子どもたちの様子が、分かりにくくなっています。これからコロナ感染が収束に向かい、子ども達は、元氣よく走り、しっかりと大地を感じ、たくさんのエネルギー



(橋本)

ギーを吸い込んで、地域に子ども達の笑い声が響き渡り、言葉のふれあいが、戻ってくるように切に願っております。

女性会

交流会で会長チーム優勝

10月26日に区女連のスポーツ交流会が安佐北区スポーツセンターで行われ、鎌田会長チームが見事に優勝しました。参加者は久しぶりの再会で楽しい時間を過ごしました。コロナが収束して今までの日常が戻ってきて欲しいものです。

(中平)

選挙立会のお手伝い

女性会は、長年にわたり選挙の期日前投票当日に立ち会い人の役目をさせてもらっています。

投票が公正に行われるように投票事務全般について立ち会う事が主な役割です。ただ漫然と立ち合うことでは無く、緊張感をもって半日あるいは1日と頑張りました。

使用済み切手を収集しています

女性会では、身体に障害のある人たちが安心して外出できるためのハード及びソフト面でのバリアフリー化活動を推進し、すべての人に優しい街をつくる「きらきら☆HIROSHIMA」活動に賛同して使用済み切手を収集しています。

収集場所は、口田集会所・ふれあいセンター・口田南集会所の3カ所にポストを設置しています。ご協力をお願いします。

紙門松(かみかどまこ)の配付

今年も残すところわずかとなりました。紙門松を例年通り配付致しますので、玄関に飾って頂ければ幸いです。

(鎌田)

口田学区老人クラブ連合会

悠々クラブ寿会の活動

平成9年3月に規約を制定、活動を開始し、平成18年6月に悠々クラブ寿会(以下本会)と改称しました。本会は、本会の趣旨に賛同し、中矢口町内会及び下矢口町内会の地域内に居住する年齢60歳以上の正会員と援助協力する賛助会員で組織し、現状は正会員73名が在籍しています。

本会は、会員相互の親睦と融和をはかり、健康で明るい生活を築く活動をすることを目的としております。

本会の活動は、進化する社会変化を網羅した具体的な活動方針を基に、年度初めの総会、事業計画を展開し、会員の合意をもって活動へ移行する事になっております。

(岡)

また、本会は会員との意思疎通を図るため、毎月初めに、間近の予定と前月の反省を記述した「悠々クラブニュース」を発行し、会員への配布を地区選出の幹事さんをお願いし、会員の見守り、予定活動の周知、活動の出欠確認、活動への要望聴取等を行って頂き、今後の活動改善に繋げております。

本会の昨年度及び今年度はコロナ感染防止のため、数少ない活動でしたが、来年度はコロナ禍も、治療薬の開発等により鎮静が期待出来ます。痛められた心身のリハビリを地域包括支援センター等に相談しながら、より早く通常活動に復帰させたいと考えております。

消防団

秋の火災予防運動

11月9日から一週間、秋の火災予防運動が展開されました。これに先立ち安佐北消防団では、11月7日に一斉街頭広報活動を行いました。コロナ禍のなか昨年同様に出発式を、各地区の出張所(高陽出張所)で行い、各地区に戻って車両2台で広報活動を実施しました。この時季は空気が乾燥していますので、火の取り扱いには十分に気を付けて、火災を予防しましょう。安佐北区では、たき火による火災が多く発生しています。たき火をしないようにご協力をお願いします。口田地区では11月5日に建物火災があり第2出動が指令されました。

出初式は中止

令和4年広島市消防出初式の開催は、新型コロナウイルス感染症防止対策等が十分に対策を行うことが困難であることから、開催を中止とすることにいたしました。



(濱田)

社会福祉協議会

募金協力に感謝

コロナに負けない福祉活動を

「赤い羽根」共同募金協力の時節を迎えました。ご承知のように共同募金でお寄せいただいた財源を基に地域の社会福祉活動が成り立っています。大切な寄付金は自治体を経由して各地区社協に割り当てられています。

ところが、残念ながら年々募金額が減少しているのが現状で、必然的に各地区への割り当て金額も減額されているのです。

そんな中であって、口田地区では口田学区町内連合会管内の各町内会・自治会のご理解を得て「社協福祉会費」の名目で拠出して頂いております。一人暮らしの方々への支援、配食サービスなどの活動支援に役立たせてもらっています。また、福祉団体等への助成金配分、さらには「いきいき百歳体操」など多岐に渡る支援活動に役立たせていただいています。

ここ2年間はコロナ禍であって、諸行事が軒並み中止に追い込まれるなど活動に支障をきたしていましたが、徐々にではあります、制限緩和の方向に改善されつつあり、大変うれしいことです。

改めて、地域の皆様方へ役員一同、中心より感謝いたしております。本当にありがとうございます。

(伊藤)

福祉活動功労の4氏を表彰

広島市社会福祉協議会と安佐北区社会福祉協議会は今年、社会福祉活動に貢献した人たちの表彰式を行いました。口田地区管内では市社協で一人、区社協で三人が受賞されました。今年もコロナ禍で、いずれも総会行事は取りやめ、表彰式典だけ執り行われました。受賞者の皆さんおめでとうございます。

〔広島市社会福祉協議会〕

(11月26日、広島市総合福祉センター)

受賞者は理事・福祉リーダーとして長年活躍された森川明美さん(小田)。10年以上に渡って社会福祉活動に貢献した功労が認められました。

〔安佐北区社会福祉協議会〕

(11月30日、安佐北区総合福祉センター)

受賞者は理事佐藤基弘さん(梅園)、同中尾鈴美さん(上小田東)、福祉リーダー室好美さん(ふじランド)の三氏。いずれも9年以上に渡って社会福祉活動に貢献されました。



今年一年を振り返って

コロナ克服に期待膨らむ

ここ2年間は新型コロナウイルス感染拡大の恐怖に振り回され、社会福祉活動の多くの諸行事は中止に追い込まれました。地域はもとより役員皆さんにとっても、辛く残念な一年を過ごされたことと思います。

「三蜜」(密集・密接・密閉)を避けることに苦慮し、見えないウイルスにおびえ、不安の連続でした。聞きなれない「緊急事態宣言」に日常は奪われ続けました。ですが、最近ようやく光明が差し込んできたように思います。11月中旬にかけて広島県内のコロナ感染者数が激減。一日の感染者「ゼロ人」を記録するものも珍しくない状態が続きました。専門家は「コロナワクチンの接種が全国的に行き届いた結果」と、分析する声もあります。次のコロナ感染の波を防ぐためにも、ワクチン追加接種の機運も盛り上がっています。

一日も早いコロナ収束を願いつつ、来年へ向けて、日常の早期回復と多くの人たちの期待に応える準備を進めていく所存です。地域福祉へのご理解とご協力を賜り、「福祉エートピア口田」の実現に邁進してまいります。町づくりなど皆様のご意見をお待ちしています。

(伊藤)

配食サービスと

いきいきサロン

毎月2回実施しています配食サービスのスケジュールは次の通りです。

下期の配食サービス

	第1回目	第2回目
12月	14日(火)	28日(火)
1月	お休み	25日(火)
2月	8日(火)	22日(火)
3月	8日(火)	22日(火)
4月	12日(火)	26日(火)

※12月10日(金)のクリスマス会は中止になりましたので、一般の配食を実施します。
▽令和4年3月3日(木)のひな祭り会は中止となりました。



愛の灯 善意募金

★この募金は、口田地区の福祉活動に活用させていただきます。
★香典返し、見舞返し等の虚礼を廃止し、社会福祉のために、あなたの善意をお寄せ下さい。



社会福祉協議会会長 伊藤 昭善

◎募金振込先

JA広島口田支店 口座番号0296920
口田郵便局 口座番号15190-31497851